

事業名	防疫推進事業費			調書番号	80
細事業名	農薬管理指導士・農薬適正使用アドバイザー認定事業費	財務コード	062202		
担当部課室	農政 部 農業技術 課 鳥獣害対策 担当 (内線)		5372		

## 事業の概要

実施期間	始期 S63 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	ゴルフ場農薬管理責任者、造園業者等で農薬を使用する者や、JA営農指導員、農薬販売業者等で農薬使用者と接する機会の多い者	研修会を通して、農薬取締法や農薬の適正使用に関する専門知識を有する人材を育成する。
結果、何に結びつけるのか	農薬の適正使用の徹底	
内容	<p>農薬安全使用に関する専門的な研修会を開催し、自らの事業で農薬を使用する者(ゴルフ場農薬管理責任者、造園業者等)を「農薬管理指導士」として、農薬を使用する者と接する機会の多い者(JA営農指導員、農薬販売業者等)を「農薬適正使用アドバイザー」として認定することで、農薬使用者の資質向上と的確なアドバイスに関する知識の習得を図り、農薬安全使用を推進する。</p> <p>(1)制度の周知、新規・更新(認定期間3年間)認定希望者の募集、(2)認定研修会の開催(1回)</p>	

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	農薬管理指導士及び農薬適正使用アドバイザー認定研修会の開催回数	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	農薬関連事故件数	目標	0	0	0	0	0	0
		実績(見込)	0	0	0	0	0	0
		達成率	-	-	-	-	-	-
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		52	56	38	38	39	69	65

## 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	平成28年度の農薬関連事故件数は0件となっている。「農薬管理指導士」及び「農薬適正使用アドバイザー」認定研修会を行うことにより、農薬による事故防止につながっており、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	対策の結果、農薬関連事故件数は0件の状態が続いており、この成果を今後も継続していくことが可能である。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 見直し余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直し余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直し余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	平成22年以降、合同研修会とし、所要時間と所要額の削減に努めている。また、研修会という形式により、対象者の受講率は高く、研修後の理解度調査により、受講者の理解度も確認できるため、今後も現行の方法で継続する。
見直しの必要性	無	近年、県内での農薬関連事故の発生はなく、研修会の一定の成果は得られている。しかし、農薬情勢の新たな動きに対応するためには、引き続き農薬使用者等に対し継続して指導を行う必要があり、今後も研修会を継続し、農薬の適正使用の一層の推進に努めるように指導を行うことにより、農薬関連事故件数0件を継続していく。

## 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。